VideOh! DVD+TV - PCI
AVC-2410

ユーザーズ ガイド

adaptec®

著作権

© 2003 Adaptec, Inc. All rights reserved. この文書は、たとえその一部であっても事前に Adaptec,Inc., 691 South Milpitas Blvd., Milpitas CA 95035 から書面による許可を得た場合を除き、電子的、機械的、複写機、記録あるいはその他いかなる手段、いかなる形式によっても転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

商標

Adaptec 、Adaptec のロゴ および VideOh! は Adaptec, Inc. の登録商標で数ヶ国で登録されています。

Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me および Windows XP は Microsoft 社の登録商標であり、アメリカその他の諸国でライセンスの下に使用されています。

Sonic および MyDVD は Sonic Solutions の登録商標であり、アメリカその他の諸国でライセンスの下に使用されています。

InterVideo および WinDVR は InterVideo 社の登録商標であり、アメリカその他の諸国でライセンスの下に使用されています。

その他の商標は各権利所有者の所有によるものです。

変更

本文書の資料は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。本書の制作に際し正確さを期するために万全の注意を払ってはおりますが、本書中の誤記や情報の抜け、あるいは情報の使用に起因する結果に関して Adaptec 社はいかなる責任も負いません。

Adaptec 社は、ユーザに対する事前の約束及び告知無しに製品のデザインを変更する権利を留保します。

禁止事項

本書のどの部分も、著作権者からの事前の書面による許可なくして、電子的、機械的を問わず、複写や記録などいかなる方法やいかなる形による転送や複製、検索システムへの登録を行う事は法律で禁止されています。

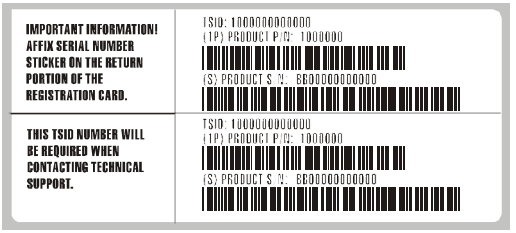
アダプテックテクニカルサポート

アダプテックの製品は、簡単にインストールして使えるように特別に開発されました。画面に表示される指示やヘルプ、マニュアルの制作にあたっては、わかり易く、使い易いものとなるよう十分配慮しております。これ以上の情報が必要な場合は、アダプテック社のテクニカルサポートへご連絡ください。

- 電話テクニカルサポート：03-5308-6120
  （受付時間 平日午前 9 時 -12 時、午後 1 時 -6 時 土、日、祭、祝日を除く）

アダプテックテクニカルサポートへご連絡されるときは、必ず以下の情報をご用意ください。

- アダプテックハードウェア製品のモデル及び TSID 番号
  本製品に下図のような、製品番号、シリアル番号、TSID（テクニカルサポート ID 番号）が印刷されているシールが同梱されています。保証書に貼付して大切に保管の上、テクニカルサポートへのお問合せの際に必ずご連絡ください。



- アダプテックソフトウェア製品の名前とバージョン番号
- お使いになっている OS の種類とバージョン番号（例：Windows XP）
- アダプテック製品を購入された販売店名

Adaptec VideOh! DVD+TV 製品があらかじめコンピュータシステムに内蔵されていたものである場合、あるいは周辺機器等に同梱されている場合には、まず、そのコンピュータメーカに連絡し、技術サービスをお受けください。日本以外の国では、それぞれの国の正規 Adaptec 販売店にご連絡ください。

アダプテックジャパン インターネットホームページ

- http://www.adaptec.co.jp

2 年保証書

1. 本製品をお買い上げいただいたお客様に、Adaptec, Inc. (以下 Adaptec) は材質上、製造上の瑕疵について、購入日から 2 年間にわたり保証致します。保証期間中に不具合が生じた場合、Adaptec は、Adaptec の判断により本製品を修理または交換するか、お支払いいただいた代金をお返し致しますので、その製品を Adaptec または Adaptec 認定サービス工場へご送付ください。ただし送付費用はお客様のご負担とさせていただきます。
2. 修理もしくは部品や製品の交換は、お手持ちの不良具合品との交換を基本とします。製品交換の際は、修理もしくは新品との交換となります。交換対象となった部品または製品は、Adaptec の所有となります。事故、誤った使用、乱暴な取り扱い、Adaptec または Adaptec 認定業者以外の修理や純正品以外の部品の使用による損傷は、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
3. 保証サービスは、お客様が保証期間中に Adaptec または Adaptec が認定するサービス工場に製品をお届けいただいた場合に限り提供致します。その際、購入価格と購入日付を証明するものをご提示ください。輸送、梱包、保険などの費用は、お客様の負担となります。保証内容は本保証書に記載される修理、交換、返金に限定されます。
4. 本保証書で保証されるサービスについての詳細は、郵便または電話で Adaptec にお問い合わせください。お問い合わせ先は下記のとおりです。
   東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 3F
   Tel: 03-5308-6120
5. 本保証書による保証は、事故、誤った使用、乱暴な取り扱い、Adaptec または Adaptec 認定業者以外による修理や純正品以外の部品の使用により製品が損傷した場合は無効となります。
6. 本製品に関する保証は、本保証が唯一のものとなります。商品性、特定目的に対する適合性、他の権利の非侵害、および隠れた瑕疵についての黙示の保証は (A) 購入日から 2 年間存続し、(B) この期間の終了後自動的に消滅し、(C) 法律で規制されない限り、保証対象には含まれません。本保証期間内に本製品に関する不具合が発生した場合、お客様への保証は、上記の修理、交換、返金に限定されます。データの損失を含むがそれに限定されず、明示的または黙示的保証の違反により生じた付随的または間接損害については、Adaptec は責任を負いません。物的損害に関しては法の認める範囲において、また身体に対する傷害等の人的損害に関しては、不合理なものでない限り、責任を免除されるものとします。
7. ある特定の管轄地においては、消費者物品については、上記の限定責任および付随的あるいは結果的損害の排除を許容しない場合があり、また、黙示的保証の存続期間についての限定を許容しない場合があります。そのような場合には、上記の限定あるいは保証の排除はお客様に適用にならない場合があります。
8. 本保証書は、本製品をご購入いただいたお客様に特定の法的権利を認めるものです。

ソフトウェア使用許諾契約書

次の契約条件を注意してお読みください。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、アダプテック、及び本製品にバンドルされているソフトウェアの使用許諾者が定める契約条件に同意したものとします。

お客様は、本製品に付属のソフトウェアを使用することにより、インストール中に同意した、当該ソフトウェアのライセンス許可者が定める契約条件の適用を受けることになります。お客様が、当該ソフトウェアに適用される契約条件に同意しない場合、未使用の製品を返送することで、全代金の返金を受けることができます。

お客様は、アダプテックが提供する本ソフトウェア (以下「ソフトウェア」という) 及び関連書類の使用許諾を得るために、以下の条件に同意するものとします。

1. 使用許諾内容 : 本契約書は、下記の使用許諾をお客様に与えるものとします :
   a. 単一コンピュータシステムでの本ソフトウェアの使用、または、
   b. バックアップを唯一の目的として、機械読み取りの可能な形式で「ソフトウェア」のコピーを作成すること。但し、Adaptec の著作権表示と所有財産権に関する記述を複製すること。「ソフトウェア」から、著作権表示を削除することは許可されません。「ソフトウェア」は、主たる使用者の、家庭、ラップトップ、その他 2 次的なコンピュータで使用される場合がありますが、そのような場合にはその機能を使うためにさらに「ソフトウェア」のコピーを作成することができます。この許諾書で用いられてるように、「ソフトウェア」は、RAM に読み込まれたり、ハードディスクやその他の半永久的な記憶機器にインストールされて使用されます。ソフトウェアは、いずれの場合でも一台でしか使用できません。お客様は、「ソフトウェア」の使用にあたっては、著作権法を含む全ての法を遵守し、コンテンツの所有者から必要な使用許諾や、許可なしに、ソフトウェアをコピー、転送、実行または配布しないことに同意します。
2. 規制 : 他人に「ソフトウェア」のコピーを分配したり、ネットワーク内の 1 つのコンピュータから他へ「ソフトウェア」を電送してはならないものとします。いかなる形式においてもインターネット上に「ソフトウェア」、またはその一部を掲載したり、インターネット上で使用できるようにしてはりません。タイム・シェアリング・アプリケーションなど、コンピュータ・サービス関連のビジネスで、「ソフトウェア」を使用してはならないものとします。「ソフトウェア」の各部品に関して、追加のクラスやインターフェース、サブパッケージを作らないものとします。「ソフトウェア」は営業秘密を含み、同秘密を保護するために、「ソフトウェア」を逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような状態に変更してはなりません。さらに、「ソフトウェア」やその部品から派生した製品を、修正、改造、翻訳、賃貸、リース、ローン、利益のための再販売、分配、ネットワーク、あるいは創造してはならないものとします。
3. 「ソフトウェア」の所有権 : お客様は「ソフトウェア」が記録あるいは固定された媒体を所有しますが、オリジナルの媒体に記録された「ソフトウェア」、並びにその後作られた「ソフトウェア」のコピーに対する権利と所有権は、オリジナルやコピーのフォームや媒体に拘らず、Adaptec またはその使用許諾者が保持します。本許諾契約書は「ソフトウェア」及びそのコピーの販売契約ではありません。
4. 機密性 : お客様は、「ソフトウェア」の機密性を保持し、Adaptec の事前の文書による承認なしに、「ソフトウェア」を第三者に公開しないことに同意します。更に、使用許諾を得ていない第三者の「ソフトウェア」に対するアクセスを阻止するために、あらゆる適切な手段を講じることに同意します。
5. 期間本許諾は、それ以前に終結、解約されない限り、2045 年 1 月 1 日まで有効です。お客様は「ソフトウェア」(関連文書を含む) 及び全コピーまたは変更内容を破壊することにより、いつでも本契約書を終結させることができます。Adaptec は、お客様が本契約書の条件や条項を遵守しない場合、直ちに使用許諾を解約する権利を有します。お客様による終結も含めて、本契約書が終結された場合、お客様は「ソフトウェア」(関連文書を含む) 及び全コピーまたは変更内容を破壊しなければなりません。
6. データベースに関する特記事項 :「ソフトウェア」にデータベースが含まれる場合、「ソフトウェア」を使用してディスクを作成するときにのみ当該データベースの使用を許諾されることに同意します。第 4 項の規定に従い、データベース及びデータベース内の全データの機密を保持することに同意します。本契約書は、当該データベース及びデータを配布または開示する権利を与えるものではありません。
7. 限定保証 :Adaptec および使用許諾者は、お客様への引渡日から 30 日間、「ソフトウェア」が記憶された媒体が、正常な使用及び作動条件において材質または製作上の欠陥を生じな

い事に限って保証します。Adaptec および使用許諾者は、「ソフトウェア」やその関連文書を使用した成果や結果を保証しません。上述は保証違反に対する Adaptec および使用許可者の唯一の救済手段です。上述の限定保証以外に、Adaptec および使用許諾者、は第三者の権利や市場適性、あるいは特定目的への適性に関して、明確にも黙示的にも、それに限定されることなく、いかなる保証を行なうものではありません。ある特定の管轄地においては、黙示的保証の存続期間についての限定を許容しない場合があります。そのような場合には、上記の限定あるいは保証の排除はお客様に適用にならない場合があります。本保証書は、本製品をご購入いただいたお客様に特定の法的権利を認めるものです。

8. Adaptec および使用許可者の負う全責任と、本保証の違反に対してお客様のみが受けることができる救済措置は次の通りです。

   a. 上記の限定保証条件に合わず、Adaptec に返送された媒体の交換、あるいは

   b. Adaptec またはその販売代理店が、材質または製作上の欠陥のない新たな媒体を供給できない場合、お客様は「ソフトウェア」を返送することにより本契約を終了し、代金の返金を受けることができます。

   上述のみが、Adaptec および使用許可者の負う全責任と、本保証の違反に対してお客様のみが受けることができる救済措置となります。

9. 損害責任の制限 :Adaptec は、たとえ第三者が Adaptec に損害の可能性や苦情を勧告していたとしても、お客様が被った逸失利益、金銭的損害、あるいは他の特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、結果的損害に対していかなる責任を負うものではありません。ある特定の管轄地においては、上記の限定責任および付随的あるいは結果的損害の排除を許容しない場合があります。そのような場合には、上記の限定あるいは保証の排除はお客様に適用にならない場合があります。

10. 輸出 : アメリカ合衆国並びにそれ以外の国家の法律及び規制により、「ソフトウェア」の輸出及び再輸出が規制されていることを、お客様は認識しなければなりません。お客様は、アメリカ合衆国並びにそれ以外の国の法律に違反する方法で、「ソフトウェア」あるいは関連書類を輸出または再輸出しないことに同意します。

11. アメリカ合衆国政府による規制 :「ソフトウェア」は、次の規制事項に従います。「ソフトウェア」が GSA 契約の条件に従って取得された場合、その使用、複製、または公開に関して、当該 ADP スケジュール契約に定められた規制の適用を受けるものとします。「ソフトウェア」が同国国防総省または民間機関が定める契約条件に従って取得された場合、その使用、複製、または公開に際して、連邦調達規則の 48C.F.R.12.212 及び国防総省 FAR 追加条項 48 C.F.R.227.7202-1 の条項に則って定められた本契約の条件に従うこととします。

12. 総則 : お客様、本契約書を熟読し、理解したこと、更に「ソフトウェア」を使用することにより、本書の条件と条項が被許可者を拘束することに同意することを承諾します。更に、お客様は、本契約書が Adaptec とお客様の間の完全かつ唯一の同意文書であり、本契約書の主題に関してこれまでに Adaptec とお客様の間で交わされた提案や同意書 (口頭か文書かを問わず) 並びに他の方法による情報交換に取って替わるものであることに同意します。追加または修正された本契約書の条項や他の条件は、Adaptec の役員がその承諾書 (本契約書条件の放棄を含む) に署名しない限り、Adaptec に対して執行不能とします。お客様は、法律に準拠し、責任を持って本ソフトウェアを使用する責務をすべて負うものします。本契約書はカリフォルニア州法によって規制されます。但し、著作権に関しては連邦法規が適用されます。本契約書は、カリフォルニア州法ミルピタス市において、両当事者によって締結されたとみなされます。本契約書のいずれかの条項が、ある裁判管轄地において履行不可とされた場合、同条項は本契約書より分離するとみなされ、本書の他の条項には何の影響も及ばないものとします。本契約書において特に記載されていない「ソフトウェア」に対する権利は全て Adaptec が保有します。

本契約書に関する質問があれば、次の宛先までお問い合わせ下さい :

Adaptec, Inc.
Legal Department
691 South Milpitas Boulevard
Milpitas, California 95035.

法規適合ステートメント

FCC（米国連邦通信委員会）無線周波数妨害法準拠

警告：本装置に対し、準拠の責任がある当事者が、特別に認可ないし加工または変更が加えられた場合、本装置を使用するユーザの権限は無効になる可能性があります。

本装置は、検査の結果、FCC 則パート 15 に従うクラス B デジタル装置の制限に準拠しています。これらの制限は、住宅地域において操作する際、妨害からの保護を目的としたものです。本装置は、無線周波数を発生、使用また放射する場合があります。取扱説明書に従って設置または使用されない場合、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。また、設置状況に関わらず障害を引き起こす可能性もあります。本装置が、テレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかどうかは、装置の電源の ON/OFF を切り替えることでご確認頂けます。本装置が受信障害の原因であると考えられる場合は以下の手順のいずれか、または幾つか組み合わせてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えるか、または場所を変える。
- テレビまたはラジオと本装置の間の距離を離す。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続する。
- 販売店またはテレビ、ラジオの修理業者にご相談ください。
- 法規上の制限に準拠した使用を行うには品質の良いI/Oケーブルか電源ケーブルをご使用ください。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しており、その使用は、次の 2 つの条件に従います：(1) 本装置は、妨害を引き起こさないと想定される。(2) 本装置は、不適切な操作に起因する障害を含むいかなる障害も承認しなければならない。

Adaptec, Inc. AVC-2410

Tested to Comply
With FCC Standards

FOR HOME OR OFFICE USE

EU 法準拠

本製品はテストの結果以下のヨーロッパの基準に準拠しています。
EMC Directive 89/336/EEC, (92/31/EEC および 93/68/EEC に改正）

- EN55022 (1998) Emissions
- EN55024 (1998) Immunity:
  - EN61000-4-2 (1998) Electrostatic discharge:±4 kV contact, ±8 kV air
  - EN61000-4-3 (1998) Radiated immunity
  - EN61000-4-4 (1995) Electrical fast transients/burst:±1 kV AC, ±0.5 kV I/O
  - EN61000-4-5 (1995) Surges ±1 kV differential mode, ±2 kV common mode
  - EN61000-4-6 (1996) Conducted immunity:3 V
  - EN61000-4-11 (1994) Supply dips and variation:30% and 100%

さらに、U.L. を要求される機器については、EN60950 with amendments A1, A2, A3, A4, A11. によれば、以下に適合しています。
EMC Directive 73/23/EEC （93/68/EEC に改正）

オーストラリア、ニュージーランド法準拠

本装置は Spectram Management Agency が策定したオーストラリア / ニュージーランド標準 AS/NZS 3548 に従ったテストの結果クラス B デジタル装置の制限に準拠しています。

カナダ法準拠

本製品はクラス B デジタル装置です。本製品は、カナダ電波妨害装置規則の要件をすべて満たしています。

日本法準拠 (自主規制)

情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に準拠しています。

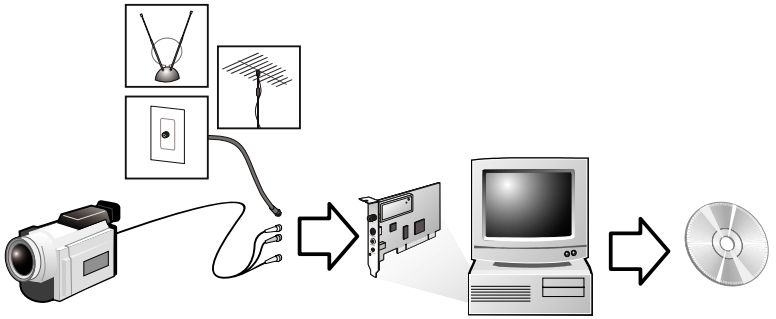
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱い説明書に従って、正しい取扱いをして下さい。

目次

はじめに 2
AVC-2410 のインストール 5
ドライバのインストール 7
ソフトウェアのインストール 14
機器の接続 16
WinDVR を使用しての TV の視聴と録画 17
WinDVR と MyDVD を使った TV プロジェクトの作成 32
MyDVD を使ったビデオ プロジェクトの作成 36
困ったときには 44
技術仕様 51

はじめに

この度は Adaptec VideOh! DVD+TV キットをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。このキットを使うと、お使いのコンピュータでテレビを見たり、TV 番組やビデオデッキまたはビデオカメラのアナログ画像をデジタル形式に変換して、映画のような Video CD (VCD) や DVD を作成することができます。



TV アンテナ ケーブルまたはアナログ ビデオ機器に接続する

VideOh! DVD + TV キットには、コンピュータでテレビを見たり、最新のパーソナル ビデオ レコーダ (PVR) 技術でテレビ番組の内容を管理したり、TV 番組を VCD や DVD に書き込むためのソフトウェアがすべて含まれています。

VideOh! DVD+TV を使うと、高品質の DVD を簡単に作成できます。ビデオにメニューを追加して操作が簡単にできるようにしたり、メニュー画面の背景に静止画だけでなく動画を選択することも可能です。VideOh! DVD+TV を使うと、音楽やトランジション、タイトルを加えるなど、より洗練された編集ができます。

VideOh! DVD+TV を使って、お気に入りのビデオクリップをキャプチャし、自由に編集、オーサリングすることもできます。それを VCD や DVD に書き込めば、オリジナルのコンテンツとして他の人に見せることもできます。

免責条項 : この製品またはソフトウェアは、お客様が著作権を所有する作品の複製、または著作権所有者から複製の許可を得た作品の複製を支援するためのツールです。お客様が著作権を所有しない作品、または所有者から複製の許可を得ていない作品を複製すると、著作権法の侵害により、懲罰金または賠償金の対象となるおそれがあります。著作権の詳細については、法律顧問にお問い合わせください。

キットの内容

Adaptec VideOh! DVD+TV キットには、以下のものが含まれています。

- AVC-2410 PCI カード
- リモコン、単三乾電池 2 本
- 1.8 m A/V ケーブル
- オーディオ変換ケーブル (ステレオミニ ⇔ RCA ピンプラグ x 2)
- 赤外線受光ユニット (リモコン受光部)
- VideOh! CD (ドライバ、ソフトウェア、『*ユーザーズ ガイド*』を含む)
- 『*スタートアップガイド*』
- ユーザ登録はがき

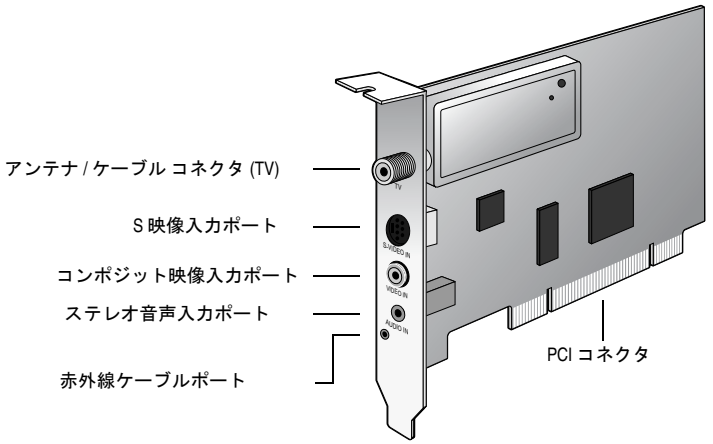
システム要件

VideOh! DVD+TV キットをお使いいただくには、次のものを搭載した PC 互換のコンピュータが必要です。

- Intel Pentium III 600 MHz 以上のプロセッサ (800 MHz 以上を推奨)
- Windows 2000®、または Windows XP®
- 使用可能な PCI スロット
- 256 MB の RAM
- 400 MB のディスク空き容量 (アプリケーション用)
- キャプチャするビデオ 10 分ごとに　200 ～ 570 MB のディスク空き容量。必要とされる容量は解像度とキャプチャ品質に応じて変化します。(詳細は 47 ページと 48 ページの表を参照)
- サウンド カード
- CD-ROM ドライブ

- ビデオ出力用として CD-R/W ドライブ または記録型 DVD ドライブ
- 16 ビット カラー、解像度 1024 x 768 をサポートするビデオ カードとモニタ (24/32 ビット カラー、より高い解像度を推奨)

AVC-2410 の外観



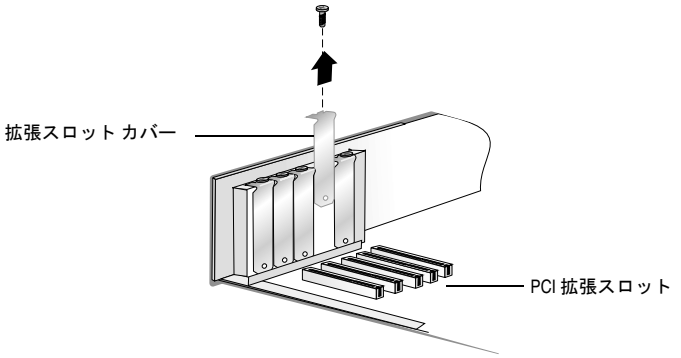
AVC-2410 のインストール

AVC-2410 カードを取り付けるには、以下のステップに従います。

1 AVC-2410 カードを取り扱う前に、アースされた金属（コンピュータの背面の塗装されていない金属部分など）に触れて、体内に蓄積した静電気を放電させます。

2 コンピュータの電源を切り、電源コードを抜きます。お使いのコンピュータに付属の取扱説明書に従って、コンピュータのカバーを取り外します。

3 周囲に障害物のない未使用の PCI 拡張スロットを見つけ、拡張スロットのカバーを外します。スロット カバーのねじは、ステップ 6 で使用しますので、大切に保管しておいてください。



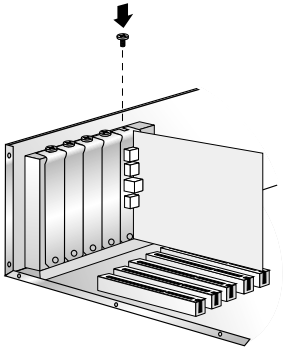
4 帯電防止用の袋から AVC-2410 カードを取り出します。

ご注意 : カードを取り扱う際は、*常に* カードの端か金属ブラケットの部分を持つようにしてください。金メッキコネクタやカード上の電子部品には触らないで下さい。

5 AVC-2410 カードを PCI 拡張スロットに差し込みます。カチッという音がしてカードが固定されるまで、カードをしっかりと下に押します。カードは、正しく取り付けられると、拡張スロットと同じ高さになります。

メモ : PCI スロットの幅によっては、少し力を入れてカードを挿入する必要があります。

6 ステップ 3 で取り外したスロット カバーのねじで、カードのブラケットを固定します。



7 コンピュータのカバーを取り付けて、電源コードを差し込みます。

8 コンピュータの電源を入れます。Windows によって AVC-2410 が検出され、新しいハードウェアの検出ウィザードが開始します。このウィザードで、必要なドライバをインストールすることができます。

9 ウィザードの指示に従って、VideOh! インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

メモ : VideOh! ソフトウェアのインストール画面が表示された場合は、ドライバをインストールするまでこの画面を閉じます。

引き続き、7 ページの「*ドライバのインストール*」を参照してください。

ドライバのインストール

アナログ ビデオまたは TV 番組のキャプチャを始める前に、VideOh! DVD+TV デバイス ドライバをインストールする必要があります。

以下に説明するオペレーティング システム別のインストール手順に従って、ドライバを正しくインストールしてください。

- Windows XP の場合は、8 ページ を参照してください。
- Windows 2000 の場合は、10 ページ を参照してください。

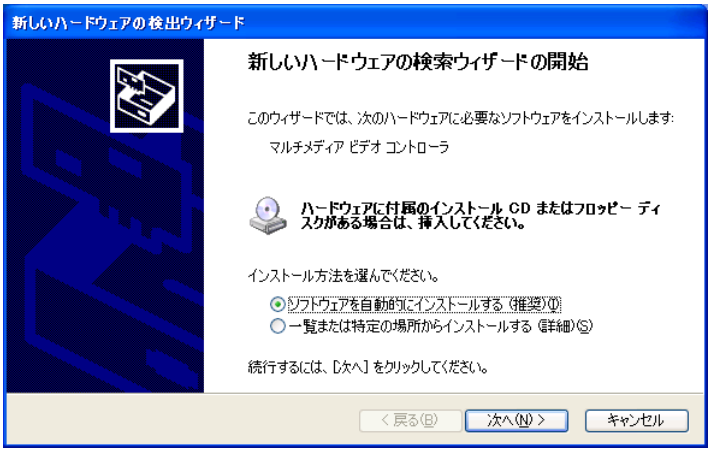
Windows XP

Windows XP によって機器が自動的に検出され、新しいハードウェアの検出ウィザードが開きます。この項で説明する手順に従ってインストールします。

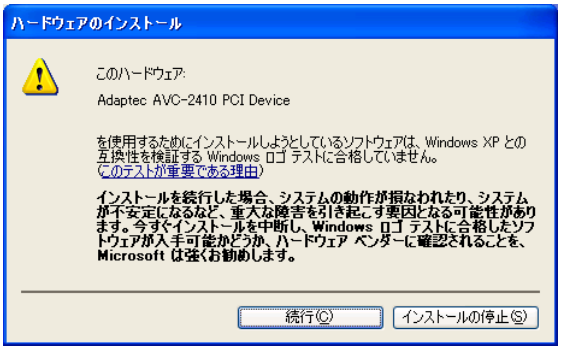
メモ : ドライバをインストールする前に、VideOh! インストール CD が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認します。

ドライバをインストールするには、以下のステップに従います。

1 新しいハードウェアの検出ウィザードで、**ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）**を選択し、**次へ** をクリックします。



2 以下のウィンドウが表示されたら、**続行** をクリックします。



メモ: アダプテックのドライバは AVC-2410 で正しく動作することがテストされ、認証されています。

Windows がドライバをインストールします。

3 **完了** をクリックして、インストールを終了します。

メモ: ドライバが正しくインストールされたかを確認するには、44 ページの「*デバイス ドライバのインストールに関するヘルプ*」の説明に従います。

引き続き、14 ページの「*ソフトウェアのインストール*」を参照してください。

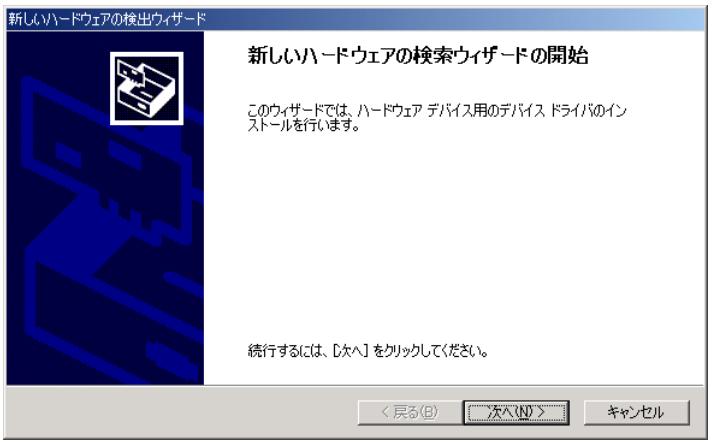
Windows 2000

Windows 2000 によって機器が自動的に検出され、新しいハードウェアの検出ウィザードが開きます。この項で説明する手順に従ってインストールします。

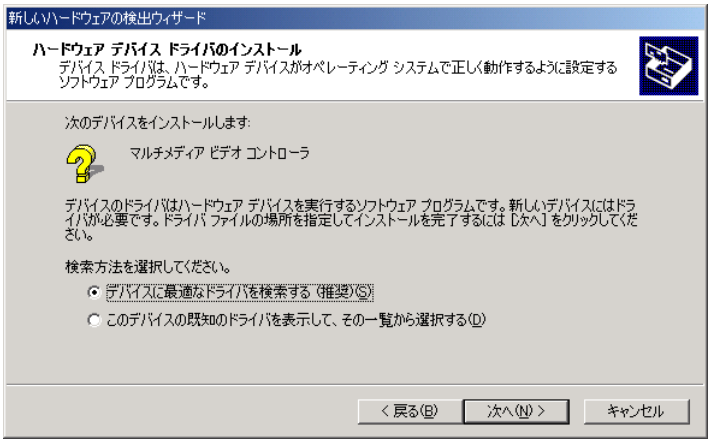
メモ : ドライバをインストールする前に、VideOh! インストール CD が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認します。

ドライバをインストールするには、以下のステップに従います。

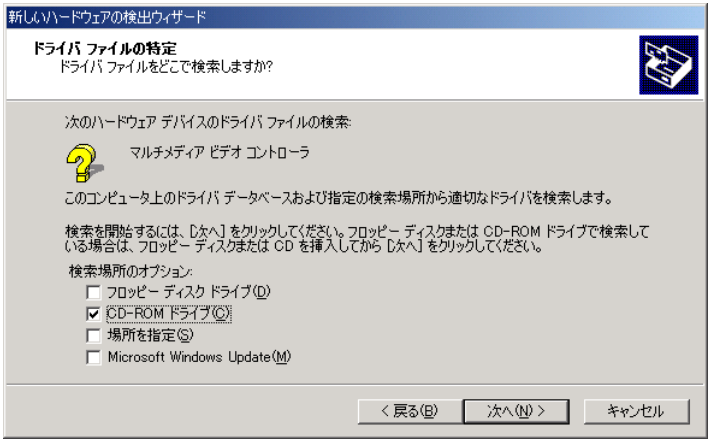
1 新しいハードウェアの検出ウィザードが開いたら、**次へ** をクリックします。



2 **デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）**を選択してから、**次へ** をクリックします。

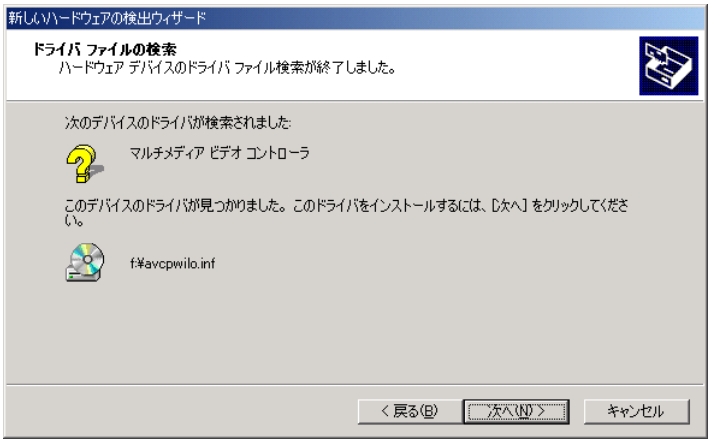


3 **CD-ROM ドライブ** のみを選択し、**次へ** をクリックします。



Windows がドライバ ファイルを見つけます。

4 **次へ** をクリックします。

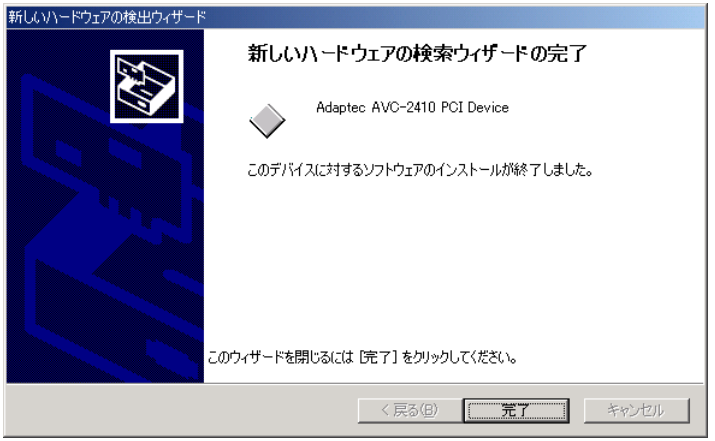


メモ : CD-ROM ドライブを表す文字は、上の例と異なる場合があります。

5 以下のウィンドウが表示されたら、**はい** をクリックします。

メモ : アダプテックのドライバは AVC-2410 で正しく動作することがテストされ、認証されています。

6 **完了** をクリックして、インストールを終了します。



メモ : ドライバが正しくインストールされたかを確認するには、44 ページの「*デバイス ドライバのインストールに関するヘルプ*」の説明に従います。

引き続き、14 ページの「*ソフトウェアのインストール*」を参照してください。

ソフトウェアのインストール

ドライバをインストールしたら、次に CD に同梱されている InterVideo® WinDVR™、Sonic® MyDVD™、ArcSoft® ShowBiz™ ソフトウェアをインストールします。

メモ : MyDVD または WinDVR が既にシステムにインストールされている場合は、それらをアンインストールしてから、新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてください。

ソフトウェアをインストールするには、以下のステップに従います。

1 VideOh! インストール CD を取り出し、再度ドライブに挿入します。

2 VideOh! インストールのメイン画面から **ソフトウェアのインストール** をクリックし、次に **WinDVR** をクリックします。

メモ : VideOh! インストール画面が表示されない場合には、Windows エクスプローラを使って CD の内容を表示し、**autorun.exe** をダブルクリックしてください。

3 画面の指示に従って、WinDVR をインストールします。

メモ : DirectX® のインストールを求められた場合は、指示に従って DirectX® をインストールしてください。

WinDVR がインストールされます。

4 インストールが完了したら、VideOh! インストールのメイン画面から **ソフトウェアのインストール** をクリックし、次に **MyDVD** をクリックします。

5 画面の指示に従って、MyDVD と ShowBiz をインストールします。

Sonic MyDVD と ArcSoft ShowBiz がインストールされます。

6 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

機器の接続

以下のステップに従って、お使いのビデオ機器 （ビデオデッキ、ビデオカメラまたは衛星放送などの外部接続受信機）と TV アンテナ (ケーブル TV または TV アンテナ) を AVC-2410 に接続します。なお、ビデオ機器との接続は、これらの機器よりキャプチャを行う場合のみ必要となります。

ビデオ機器の接続

同梱の A/V ケーブルまたはビデオ機器の付属ケーブルを使用して、ビデオ機器を AVC-2410 と接続します。S 映像を使用する場合は、S 映像ケーブルと VideOh! DVD+TV キットに付属の A/V ケーブルを使用できます。

AVC-2410 の電源ポートが見つからない場合は、4 ページ の図を参照してください。

ビデオ プロジェクトを作成する方法については、36 ページ を参照してください。

アンテナ線との接続

一般的な同軸タイプの TV ケーブル (F 型コネクタ) を使用して、アンテナ ケーブルを AVC-2410 に接続します。

赤外線受光部からのケーブルを赤外線ケーブル ポートに接続し、周りに障害物がない場所、またはコンピュータ モニタの近くにに受光部を置きます。リモコンから発信される赤外線信号が受光部に届くことを確認してください。

これで、「**作成**」への準備ができました。TV プロジェクトを作成する方法については、32 ページ を参照してください。

WinDVR を使用しての TV の視聴と録画

InterVideo WinDVR を使用すると、コンピュータで TV 番組の視聴と録画ができます。『*ユーザーズ ガイド*』のこの項では、以下について説明します。

- WinDVR の操作 （19 ページ を参照してください。）
- WinDVR の起動 （21 ページ を参照してください。）
- WinDVR の初期設定の実行 （21 ページ を参照してください。）
- TV パネルの表示 （22 ページ を参照してください。）
- TV の視聴 （23 ページ を参照してください。）
- タイム シフト機能の使用 （25 ページ を参照してください。）
- TV 番組の録画 （27 ページ を参照してください。）
- 録画予約 （28 ページ を参照してください。）
- 録画した番組の視聴 （30 ページ を参照してください。）
- TV からの静止画像のキャプチャ （31 ページ を参照してください。）
- WinDVR のカスタマイズ （31 ページ を参照してください。）

WinDVR の使用中に詳しい情報を参照したい場合は、コントロール パネルの **?** をクリックしてください。WinDVR のメニュー、設定、およびその他の機能の詳しい情報が表示されます。

WinDVR を使用する前に、以下をチェックします。

- アンテナ線が AVC-2410 に接続されていることを確認します (16 ページ 参照)。
- Sonic MyDVD が起動している場合は、終了します。

ご注意 : WinDVR と MyDVD は同時に実行 *しないでください*。どちらかが起動済みの場合は、それを終了してからもう片方を起動します。

WinDVR の操作

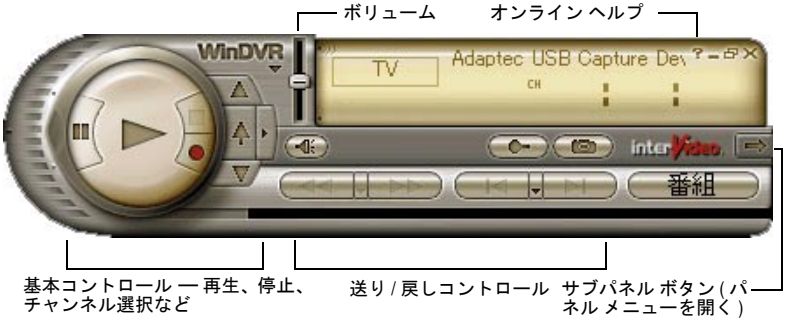
WinDVR は画面上のコントロール パネル、キーボード、VideOh! DVD + TV キットに付属のリモコンで操作できます。

この項では、これらの 3 つの操作ツールの概要を説明します。この『*ユーザーズ ガイド*』の残り部分では、操作ツールとして主にリモコンを使用します。

メモ : デジタル ケーブル TV や衛星放送の外部受信機がある場合は、その操作方法については 20 ページの「*外部受信機の使い方*」を参照してください。

コントロール パネルの使い方

コントロール パネルのボタン (下図参照) はマウスで操作します。コントロール パネルの **?** ボタンをクリックすると、各ボタンの機能の詳しい説明が表示されます。



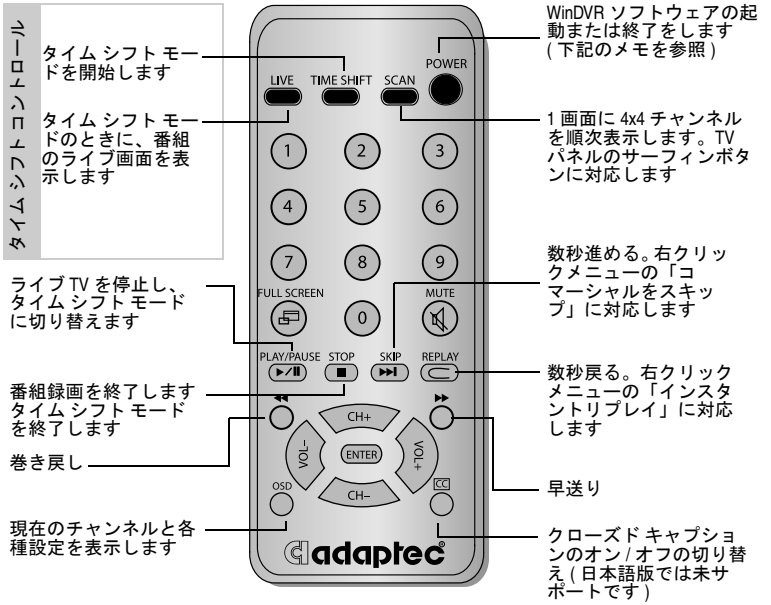
キーボード ショートカットの使い方

マウスを使用する代わりに、キーボード ショートカット (またはホットキー) を使って WinDVR を操作することもできます。たとえば、スペースバーで再生と一時停止を切り替えたり、キーボードの数字でチャンネルを選択したり、Home キーで録画を開始したりできます。

オンライン ヘルプに、キーボード ショートカットの一覧が記載されています。詳細については、コントロール パネルの **?** をクリックしてください。

リモコンの使い方

リモコンを使用するには単三乾電池 (キット付属) が 2 本必要です。リモコンのコントロール ボタンと機能は通常の TV 用リモコンとほとんど同じです。TV にない特別な機能については、下図で説明しています。



メモ : 電源ボタン (POWER) を押すと WinDVR ソフトウェアが起動または終了します。AVC-2410 やコンピュータの電源の *オン / オフはできません* ので注意してください。

外部受信機の使い方

デジタル ケーブル TV や衛星放送などの外部接続の受信機を AVC-2410 に接続する場合は、外部受信機の接続に合わせて WinDVR のビデオ ソース (入力元) を選択し、外部受信機に付属するリモコンで外部受信機のチャンネルを選択する必要があります。WinDVR コントロール パネル / キーボード / リモコンのチャンネル選択ボタンは機能しません。

WinDVR の起動

WinDVR を起動するには、デスクトップ上にある **InterVideo WinDVR** アイコン (右図参照) をダブルクリックするか、リモコンの電源ボタン (**POWER**) を押します。表示ウィンドウとコントロール パネルが表示されます。

メモ : リモコンの電源ボタン (POWER) を押すと WinDVR ソフトウェアが起動または終了します。コンピュータの電源のオン / オフは できません ので注意してください。

表示ウィンドウは、TV 番組をライブで、または録画後に見るのに使用します。ウィンドウの位置とサイズは自由に変更できます。表示ウィンドウはチャンネルが選択されるまでは一時的に静止することがあります。

コントロール パネル (19 ページ を参照) の外見は、標準的なビデオデッキの操作パネルとほぼ同じです。コントロール パネルを使用して、TV 番組をライブで、または録画して視聴します。スリープ タイマー、パレンタル・ロック (視聴制限) 機能、チューナの入力モードなどの WinDVR の設定を変更する場合は、セットアップ ダイアログを開きます。

初期設定の実行

WinDVR をインストールして最初に起動するとき、ウィザードが表示されて初期設定を行うことができます。画面の指示に従って、自分の使い方に合わせてソフトウェアを設定します。

1 デバイス ウィンドウでは以下のように設定します。

- デバイスを **Adaptec PCI Capture Device** に設定します。
- 入力元を **TV** に設定します。
- ビデオ標準は変更しないでください。この設定は、ステップ 2 で選択する地域に合わせて WinDVR が自動的に調整します。

2 TV ウィンドウでは以下のように設定します。

- アンテナを使用している場合は、チューナの入力を **アンテナ** に設定します。それ以外の場合は **ケーブル** を選択します。

- お住まいの場所に合わせて、国または地域を設定します。WinDVR はこの情報を利用してデバイスの標準設定を行い、電子番組ガイド (EPG) を通してお住まいの地域の TV 番組表を提供します。

3 iEPG ウィンドウでは、お好みの EPG サーバを選択します。EPG サーバは、いつでもセットアップウィンドウの iEPG タブより変更することができます。

4 チャンネル ウィンドウで **オートスキャン** をクリックします。

オートスキャンを行うと、WinDVR が受信可能なチャンネルを判断します。オートスキャンはいつでもセットアップ ウィンドウから実行できます (23 ページ を参照)。

5 記憶領域ウィンドウの情報はデフォルトのままにしておくことをお勧めします。

メモ : 設定に関する詳しい情報については、31 ページの「*WinDVR のカスタマイズ*」を参照するか、または WinDVR コントロール パネルの **?** をクリックしてください。

TV パネルの表示

コントロール パネルには TV パネルというサブパネルがあり、クローズド キャプションや EPG などの TV 固有の設定を行うことができます。

TV パネルを開くには、**サブパネル** ボタン (右図参照) をクリックし、**TV パネル** を選択します。

TV パネル (下図参照) がコントロール パネルの隣に開きます。

TV パネルを閉じるには、**サブパネルを閉じる** ボタンをクリックします。

TV の視聴

コンピュータのモニタを通常の TV のようにして *ライブTV* (現在放送中の TV 番組) を見ることができます。

TV を見るには、以下のステップに従います。

1 リモコンの電源ボタン (**POWER**) を押して、WinDVR を起動します。

2 必要であれば利用可能なチャンネルをオートスキャンします。

オートスキャンを実行するには、TV パネル (22 ページ を参照) の **セットアップ** ボタンをクリックし、チャンネル タブの **オートスキャン** をクリックします。

3 コントロール パネル、キーボード、リモコン、または外部受信機の操作パネルを使用して、チャンネルを選択します。

選択したチャンネルが表示ウィンドウに表示されます。

メモ : いつでもコントロール パネルのチャンネル リスト ボタンをクリックして、使用可能なチャンネル一覧からチャンネルを選択できます。

4 通常の TV を見るときと同じように、チャンネルを変えたりボリュームを調整します。

5 TV を見終わったら、WinDVR を終了します。

チャンネル サーフィン

他のチャンネルでどんな番組が放送されているか確認するには、以下のステップに従います。

1 リモコンの **SCAN** ボタンを押すか、WinDVR の TV パネルを開き **サーフィン** をクリックします。

利用可能なチャンネルの静止画像が表示ウィンドウに表示されます。

2 いずれかの画像をクリックすると、そのチャンネルをプレビューが表示されます。

3 いずれかの画像をダブルクリックすると、そのチャンネルが表示ウィンドウに全画面表示されます。

チャンネルを変更しない場合は、**停止** ボタンをクリックして、サーフィン セッションを終了します。(もう一度 **SCAN** をクリックしてもチャンネル スキャンを終了することができます。)

タイム シフト

WinDVR のタイム シフト モードを使用すると、ライブ TV を見ながら、一時停止、リプレイ、コマーシャルのスキップを行うことができます。タイム シフト モードでは、いろいろな TV の見方が可能です。たとえば、その場でリプレイを見たり、ライブ番組を見るのを一時中断して、中断したところから再開したり、ライブ TV の画面に即座に戻ったりすることができます。

通常モードでのタイム シフト

通常モードでは、タイム シフトは録画とは異なり、ハードディスクに永続的なファイルは保存されません。タイム シフト モードを開始すると、WinDVR は視聴している番組の一時的な保存 (*バッファリング*) を開始します。バッファリングの最長時間は事前に設定された値です (デフォルトでは 10 分)。

メモ: このデフォルトのバッファリング時間は変更できます。TV パネルを開き、**セットアップ** ボタンをクリックして、次に **タイム シフト** タブをクリックします。ハードディスクの容量の限度内で、自由にバッファリング時間を変更します。それから、**OK** をクリックします。

放送中の番組を見ているときにタイム シフト モードを開始するには、以下のステップに従います。

1 リモコンの **TIME SHIFT** または **PLAY/PAUSE** を押します (どちらのボタンを押してもタイム シフトを開始します)。

メモ : WinDVR コントロール パネルの一時停止ボタンをクリックしても、タイム シフトを開始します。

TV 番組のバッファリングが開始されます。コントロール パネルのチャンネル表示の上に **タイム シフト** と表示されます。

タイム シフト モードのまま事前設定されたバッファリング時間の限度を超えると、TV 番組の最新の部分だけがバッファに保存されます。たとえば、バッファリング時間の限度が 10 分の場合、バッファには TV 番組の最新の 10 分間だけが保存されます。

2 **早送り** または **巻き戻し** ボタンを使用すると、番組のバッファリングされた部分の中をすばやく移動できます。

数秒間だけ進めたり戻したりする場合は、**SKIP** ボタンと **REPLAY** ボタンを使用します。

メモ : デフォルトでは、SKIP ボタンは 30 秒進むように設定されており、REPLAY ボタンは 10 秒戻るように設定されています。これらのデフォルトの値は、セットアップ ウィンドウの表示タブで変更できます。詳細については、31 ページの「*WinDVR のカスタマイズ*」をご覧ください。

リモコンの **LIVE** ボタンを押すと、バッファリングされている TV 番組のライブ画面にすぐに移動します。

3 リモコンの **STOP** ボタンを押すと、タイム シフト モードを終了してライブ TV モードに戻ります。バッファリングされた情報は消去されます。

録画モードでのタイム シフト

タイム シフトを録画モードに設定すると、タイム シフトを開始するたびに自動的に録画されるようになります。録画モードには、事前に設定されたバッファリング時間の限度はありません。

メモ : 録画モードは、より多くのコンピュータ リソースを使用するため、システム パフォーマンスが低下する場合があります。

タイム シフトを録画モードに設定するには、以下のステップに従います。

1 TV パネルを開き、**セットアップ** ボタンをクリックします (22 ページ を参照)。

セットアップ ウィンドウが表示されます。

2 **タイム シフト** タブをクリックします。

3 **録画モード** ラジオ ボタンをクリックします。

4 **OK** をクリックしてセットアップ ウィンドウを閉じます。

タイム シフト モードを開始するには、以下のステップに従います。

1 通常どおり TV を見て、好きな時にリモコンの **TIME SHIFT** を押します。

2 25 ページの「*タイム シフト*」で説明しているように、タイム シフト機能を使用します。

3 リモコンの **STOP** ボタンを押すと、タイム シフト モードを終了してライブ TV モードに戻ります。

録画した番組のファイル名を入力するよう求められます。

4 ファイル名を入力して、**OK** をクリックします。

ファイルがハードディスクに保存されます。

TV の録画

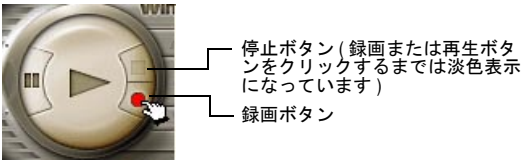
WinDVR を使用して TV 番組を録画し、ハードディスクに保存して後から見ることができます。

TV 番組を録画するには、以下のステップに従います。

1 キャプチャした内容を保存できる十分な空き容量がハードディスクに残っていることを確認します。ファイル サイズの推定方法については、47 ページの「*TV 番組の録画に関するヘルプ*」を参照してください。

2 チャンネルを選択します (コントロール パネル、キーボード、リモコン、または外部受信機の操作パネルを使用します)。

3 コントロール パネルの **録画** ボタンをクリックして、録画を開始します。



4 録画を停止するときは、コントロール パネルの **停止** ボタンをクリックします。

5 「プログラム名の設定」ダイアログが表示されますので、録画したファイル（番組）に名前をつけて、**OK** をクリックしま

す。デフォルトの設定では、ファイルはエクスプローラの **マイ ドキュメント** にある **マイ ビデオ** (My Videos) フォルダに保存されます (別の場所に保存するように WinDVR を設定していない場合)。

録画予約

WinDVR は、TV 番組を録画したり、放送予定の番組を知らせるように設定できます。視聴予約あるいは録画予約をするには、以下のステップに従います。

1 TV パネルを表示します (詳細については 22 ページ を参照してください)。

2 **スケジュール** をクリックします。

スケジュール ウィンドウが表示されます。

3 **作成**をクリックします。

スケジュールの作成を行うウィザードが開始します。

ウィザードにしたがって、録画または視聴のスケジュールを設定します。1 回のみのスケジュールを作成したり、定期的な録画 / 視聴予約の設定ができます。同じ日時に同時に 2 つの番組のスケジュールを設定しようとすると、競合を示すメッセージが表示されます。

スケジュール設定が完了すると、スケジュール ウィンドウのタスク ID 列にアイコンが表示されます。このアイコンは、スケジュール録画のタスク、または番組の予約のタスクのいずれかであるかを示します。

メモ : デジタル ケーブル TV や衛星放送の外部受信機がある場合は、29 ページの「*外部受信機による録画予約*」に録画に関する重要な情報が記載してあるので参照してください。

4 予約録画が設定されている時間には、必ずコンピュータの電源が入っているようにします。(システム構成により、サスペンドからの自動復帰がサポートされていない場合は、コンピュータの電源を入れておきます。) デジタル ケーブル TV や衛星放送の外部受信機がある場合は、受信機の電源も入れたままにしておきます。WinDVR を起動する必要はありません。予約した時間になると自動的に起動します。

外部受信機による録画予約

デジタル ケーブル TV や衛星放送を使用する場合のみ—WinDVR では外部受信機のチャンネル設定は制御できません。

同じチャンネルの TV 番組 (複数も可) の録画予約を設定するには、以下のステップに従います。

1 外部受信機で番組のチャンネルを設定します。

2 録画予約する番組ごとに、タスク ウィンドウ (28 ページのステップ 3 参照) を開き、外部受信機の接続に合わせてビデオソースを選択します。

3 予約録画が設定されている時間には、外部受信機の電源が入っているようにします。

*異なる*チャンネルの複数の TV 番組の録画予約を設定するには、以下のステップに従います。

1 録画予約する番組ごとに、タスク ウィンドウ (28 ページのステップ 3 参照) を開き、外部受信機の接続に合わせてビデオソースを選択します。

2 予約録画時間になる前に、受信機のチャンネルを必要に応じて手作業で変更します。外部受信機の種類によっては、タイマー設定によりチャンネルを切り替えられる製品もあるようです。詳細については外部受信機の取扱説明書を参照してください。(*録画中は*チャンネルを変更しないでください。)

3 予約録画が設定されている時間には、外部受信機の電源が入っているようにします。

電子番組ガイド (EPG) の使用

TV パネル (22 ページ を参照) の **EPG** ボタンをクリックして、Web 上の番組ガイドに接続し、番組表の表示と録画スケジュールの設定に利用します。電子番組ガイドを開くには、インターネットに接続している必要があります。

電子番組ガイドには、お住まいの地域の番組表が表示されます。番組表が間違っている場合は、セットアップ ダイアログ ボックスの TV タブの国または地域の設定を確認してください。詳細については、31 ページの「*WinDVR のカスタマイズ*」を参照してください。

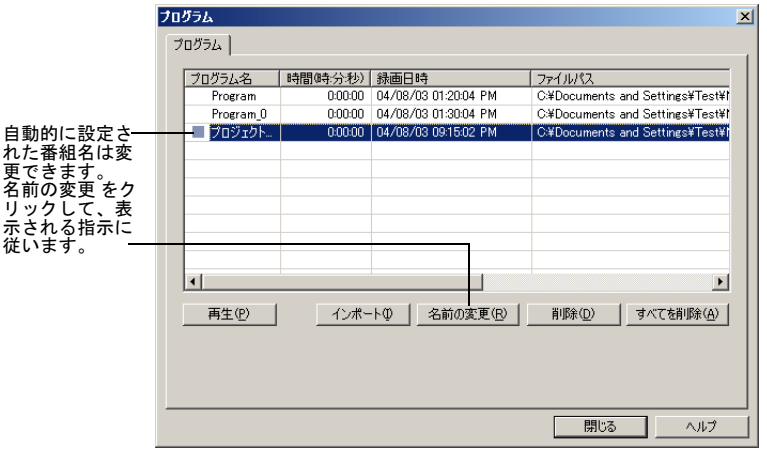
電子番組ガイド (EPG) の使用法と問題の解決方法については、電子番組ガイドの Web サイトを参照してください。

録画した番組の視聴

保存した TV 番組はコンピュータのモニタで視聴できます (保存した TV 番組を DVD または CD に書き込む場合は、33 ページの「*MyDVD へのインポート*」を参照してください)。

保存した TV 番組を見るには、以下のステップに従います。

1 コントロール パネルの **番組** をクリックして、再生ダイアログ ボックスを開きます。



2 見たい番組をクリックして、**再生** をクリックします。

3 番組の再生を止めるときは、**停止** ボタンをクリックします。

静止画像のキャプチャ

WinDVR のコントロール パネルを使用して TV 番組の静止画像をキャプチャできます。

メモ : ライブ TV を見たり、録画した番組を再生しているときに、静止画像をキャプチャできます。

静止画像をキャプチャするには、以下のステップに従います。

1 TV を見ている時に、WinDVR コントロール パネルの **静止画像キャプチャ** ボタン (右図参照) をクリックします。

キャプチャ ウィンドウに、キャプチャした画像が表示されます。

2 キャプチャ ウィンドウ内のボタンを使用して、画像を保存または削除できます。ファイルはビットマップ (.bmp) 形式、または JPEG (.jpg) 形式で保存することができます。

3 静止画像キャプチャ ボタンを使用してキャプチャ ウィンドウからさらに静止画像をキャプチャするか、またはキャプチャ ウィンドウを閉じます。

WinDVR のカスタマイズ

WinDVR の設定はいつでも変更可能です。WinDVR の設定を変更するには、以下のステップに従います。

1 TV パネルを開き、**セットアップ** ボタンをクリックします (詳細については 22 ページ を参照)。

セットアップ ウィンドウが表示されます。

2 必要に応じて設定を変更します。設定項目に関するヘルプを表示するには、コントロール パネルの **?** をクリックします。

3 **適用** をクリックして、**OK** をクリックします。

WinDVR と MyDVD を使った TV プロジェクトの作成

この項では、TV プロジェクトを作成して、DVD または CD に番組を保存し、あとで視聴できるようにする基本的ステップについて説明します。

メモ : ビデオ プロジェクトを作成する方法については、36 ページ を参照してください。

更に詳しい情報については、Sonic MyDVD に含まれるオンライン チュートリアルを参照してください。また、このソフトウェアの使用中はいつでも、**?** または **ヘルプ** をクリックすれば、必要なステップについての詳しい情報を確認できます。

「**作成**」作業に入る前に、以下のステップに従います。

- 外付けの DVD/CD レコーダがある場合、それがコンピュータに接続しており、電源が入っているかを確認します。DVD ディスクを作成するには、記録型 DVD ドライブと、適切なメディアが必要です。DVD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブでは DVD ディスクを作成できません。そのかわり、CD-R/RW ドライブでは、ほとんどの DVD プレーヤで再生可能な Video CD を作成することができます。
- WinDVR を終了します。

ご注意 : WinDVR と MyDVD は同時に実行しないでください。どちらかが起動済みの場合は、それを終了してからもう片方を起動します。

MyDVD へのインポート

録画した TV 番組を DVD または CD に書き込むには、あらかじめそのファイルを MyDVD にインポートする必要があります。

1 WinDVR を終了します。WinDVR を実行している間は、MyDVD を *起動しないでください*。

2 デスクトップ上の **Sonic MyDVD** アイコンをダブルクリックして、MyDVD を起動します。ようこそ ウィンドウが表示されます。

3 DVD-Video や、Video CD の上にマウスポインタを移動し、それぞれの **プロジェクトの作成または修正** をクリックします。メインプロジェクト ウィンドウが表示されます。

4 **ムービーの取得** をクリックします。目的のビデオ ファイルを選択して、**開く** をクリックします。

5 ファイルが MyDVD にロードされ、メインプロジェクト ウィンドウにサムネイル (ボタン画像) が表示されます。

MyDVD のメインプロジェクト ウィンドウのレイアウトは、DVD メニューが TV でどのように見えるかを示しています。

録画した番組のトリミング

これで録画した TV 番組ビデオファイルの取り込みが完了したので、内容をトリミングできます。たとえば、ビデオの開始個所や終了個所を変更したり、不要な場面を削除できます。また、特定の TV フレームを選択して、メインプロジェクト ウィンドウのサムネイル表示に使用することもできます。

トリミングと編集方法の詳細については、40 ページの「*ビデオのトリミング*」を参照してください。

録画した番組の DVD または CD へ書き込み

DVD または CD に書き込む前に、DVD/VCD プロジェクトがどのように表示されるか確認しておくことをお勧めします。プレビューの品質とトラブルシューティングについては、41 ページの「*プロジェクトのプレビュー*」を参照してください。

DVD や VCD プロジェクトがどのように見えるかを確認したら、記録型 DVD や CD-R のメディアに書き込みを行い、長期保存したり、繰り返し鑑賞できるようにします。詳細については、42 ページの「*DVD または CD への書き込み*」を参照してください。

更に詳細な情報を探す

Sonic MyDVD や ArcSoft ShowBiz の使い方について更に詳しく知るには、以下の方法があります。

- MyDVD のようこそ ウィンドウから、**ヘルプ** ボタンや **チュートリアル** ボタンをクリックします。

  プロジェクト ウィンドウから、**ヘルプ** メニューをクリックし、**ヘルプのトピック** または **チュートリアル** を選択します。

- ShowBiz でオンライン ヘルプや基本的なチュートリアルを参照するには、ShowBiz のメイン画面にある **?** をクリックします。また、状況に応じたヘルプを開くには、その画面で右クリックします。

MyDVD を使ったビデオ プロジェクトの作成

ここでは、ビデオをキャプチャし、トリミングし、DVD や CD に書き込むための基本的なステップについて説明します。

メモ : TV プロジェクトを作成する方法については、32 ページ をご覧ください。

更に詳しい情報については、Sonic MyDVD に含まれるオンライン チュートリアルを参照してください。また、このソフトウェアの使用中はいつでも、**?** または **ヘルプ** をクリックすれば、必要なステップについての詳しい情報を確認できます。

「**作成**」作業に入る前に、以下のステップに従います。

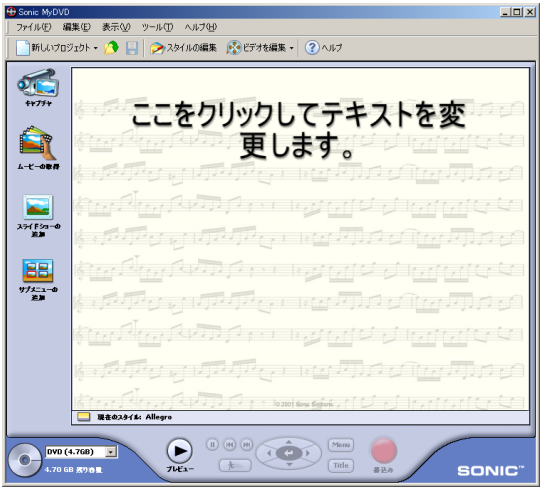
- アナログ ビデオ機器 (ビデオカメラ、ビデオデッキなど) が、AVC-2410 に接続され、電源が入っていることを確認します。
- 外付けの DVD/CD レコーダがある場合、それがコンピュータに接続しており、電源が入っているかを確認します。DVD ディスクを作成するには、記録型 DVD ドライブと、適切なメディアが必要です。DVD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブでは DVD ディスクを作成できません。そのかわり、CD-R/RW ドライブでは、ほとんどの DVD プレーヤで再生可能な Video CD を作成することができます。
- WinDVR が起動していないことを確認します。

ビデオのキャプチャ

ビデオ クリップ をうまくキャプチャするには、正しい順番で以下のステップに従うことが大切です。

1 デスクトップ上の、**Sonic MyDVD** のアイコンをクリックして、MyDVD を起動します。ようこそ ウィンドウが表示されます。

2 DVD-Video や、Video CD の上にマウスポインタを移動し、それぞれの **プロジェクトの作成または修正** をクリックします。メインプロジェクト ウィンドウが表示されます。



3 メインプロジェクト ウィンドウ (38 ページのステップ 2 参照) で、**キャプチャ** ボタンをクリックします。キャプチャ ウィンドウが表示されます。キャプチャ ウィンドウに、ビデオ画像が表示されます。

これらのボタンはアナログ ビデオ機器を操作するためのものではありません。アナログ ビデオテープを操作する場合は、ビデオ機器についた再生や停止などのボタンを使用してください。

4 アナログ ビデオ機器の **再生** ボタンを押します。

5 お使いのコンピュータにビデオをキャプチャするには、赤い **キャプチャの開始** ボタンをクリックしてください。

MyDVD は、音声も同時にキャプチャします。

メモ : ビデオ キャプチャ中に、エラーメッセージが表示された場合は、アナログ ビデオ機器を停止し、48 ページの「*ビデオ キャプチャ（MyDVD）に関するヘルプ*」を参照してください。

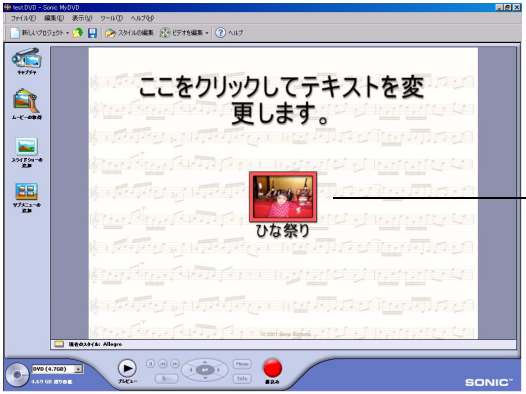
6 ビデオをコンピュータにキャプチャするのを止めるときは、**キャプチャの停止** をクリックし、アナログ ビデオ機器を止めるか、一時停止します。

7 名前を付けて保存の画面で、ビデオクリップのファイル名を入力し、**保存** をクリックします。選択したファイル名が、ビデオ

クリップのタイトルになり、メインプロジェクト ウィンドウに表示されます。(タイトルは必要ならばあとで変更できます)。

8 完了したら、**終了** ボタンをクリックします。

ビデオクリップが保存され、メインプロジェクト ウィンドウに サムネイル (ボタン画像) が表示されます。



MyDVD のメインプロジェクト ウィンドウのレイアウトは、DVD メニューが TV でどのように見えるかを示しています。

メモ : 同じセッションでビデオを複数回キャプチャする場合は、6 回キャプチャした後、プロジェクトを保存して、MyDVD を一旦終了し、再度実行してください。

ビデオのトリミング

これで、ビデオクリップのキャプチャが完了したので、内容をトリミングできるようになりました。必要に応じ、ビデオの開始個所や終了個所を変更できます。また、特定のビデオフレームを選択して、メインプロジェクト ウィンドウのサムネイル表示 (ボタン画像) に使用することもできます。

1 メインプロジェクト ウィンドウから、トリミングするビデオクリップのサムネイルをダブルクリックします。

2 ビデオのトリミングをするには、トリミング ウィンドウのボタンを使います。

3 終了したら、**OK** をクリックします。

メモ : もっと高度な編集機能が必要な場合は、MyDVD に同梱の ArcSoft ShowBiz ソフトウェアを使用してください。詳細については、43 ページの「*更に詳細な情報を探す*」を参照してください。

プロジェクトのプレビュー

DVD または CD に書き込む前に、DVD/VCD プロジェクトがどのように表示されるか確認しておくことをお勧めします。プロジェクトをプレビューするには、メインプロジェクト ウィンドウの一番下にある **プレビュー** をクリックし、表示したいサムネイルクリップをダブルクリックします。

プロジェクトをプレビューした後は、**停止** ボタンを押します。

- TV と コンピュータのビデオ映像の表示形式が違うために、再生では、ぼやけた不明瞭な状態になります。(例えば、オブジェクト - 特に動いているオブジェクト の端でフェザリングというぼかしの入った現象が現れます)。この現象は、完成した DVD や VCD を TV で再生する場合には、ほとんど目立ちません。

- お使いの コンピュータの CPU が 800 MHz より遅い場合や、処理速度の遅いビデオカードを備えたコンピュータシステムでは、MyDVD キャプチャ ウィンドウでの画像のプレビューがとぎれとぎれとなることがあります。このような場合でも、完成した DVD や VCD は正常に記録されており、TV 再生には問題ありません。お使いの コンピュータ のビデオ カードやオーディオカードのドライバをアップデートすることで、この問題が軽減される場合もあります。ビデオ カードやサウンド カードの製造元の Web サイトをチェックしてドライバをアップデートしてください。

DVD または CD への書き込み

DVD や VCD プロジェクトがどのように見えるかを確認したら、記録型 DVD や CD-R のメディアに書き込みを行います。

1. 記録型 DVD や CD-R のメディアを、お使いのコンピュータの DVD または CD レコーダに挿入します。
2. メインプロジェクト ウィンドウの、赤い **書込み** ボタンをクリックします。
3. 画面上の指示に従います。

   DVD または VCD の作成が正常に完了すると、その旨を示すメッセージが表示されます。30 分の DVD または VCD には、書き込みに平均 1 時間から 2 時間程度かかります (お使いのコンピュータとドライブの速度によって異なります)。

DVD または VCD の共有

ビデオをキャプチャし、DVD または CD に書き込んだら、その DVD や CD は誰でも見ることができるようになります。新しく作成した DVD は、互換性のあるほとんどの DVD プレーヤで再生できます。新しく作成した VCD は、互換性のあるほとんどの DVD プレーヤまたは CD-ROM ドライブで再生できます。

作成した DVD は、通常の DVD とまったく同じように、DVD プレーヤのボタンやリモコンを使って再生できます。

VCD を再生するには、ビデオ プレーヤのリモコンの番号ボタンを選択して、見たいビデオ クリップを選択します。ビデオ クリップが 7 つ以上ある場合は、一画面先に進むボタンまたは一画面元に戻るボタンを使って、メニュー画面を切り替えます。

更に詳細な情報を探す

Sonic MyDVD や ArcSoft ShowBiz の使い方について更に詳しく知るには、以下の方法があります。

- MyDVD のようこそ ウィンドウから、**ヘルプ** ボタンや **チュートリアル** ボタンをクリックします。

  プロジェクト ウィンドウから、**ヘルプ** メニューをクリックし、**ヘルプのトピック** または **チュートリアル** を選択します。

- ShowBiz でオンライン ヘルプや基本的なチュートリアルを参照するには、ShowBiz のメイン画面にある **?** をクリックします。また、状況に応じたヘルプを開くには、その画面で右クリックします。

困ったときには

AVC-2410 のユーザ登録

アダプテックの Web サイト
http://www.adaptec.co.jp/support/regist.html で AVC-2410 のユーザ登録を行うことができます。

AVC-2410 に関するヘルプ

- アナログ ビデオ機器が接続され、電源がオンになっていること、または、TV アンテナケーブル (ケーブル TV、TV アンテナ) が正しく接続されていることを確認します。
- ケーブルがすべて正しく接続されていることを再確認します。
- AVC-2410 が正しく接続され、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。詳細については、以下の「*デバイス ドライバのインストールに関するヘルプ*」を参照してください。

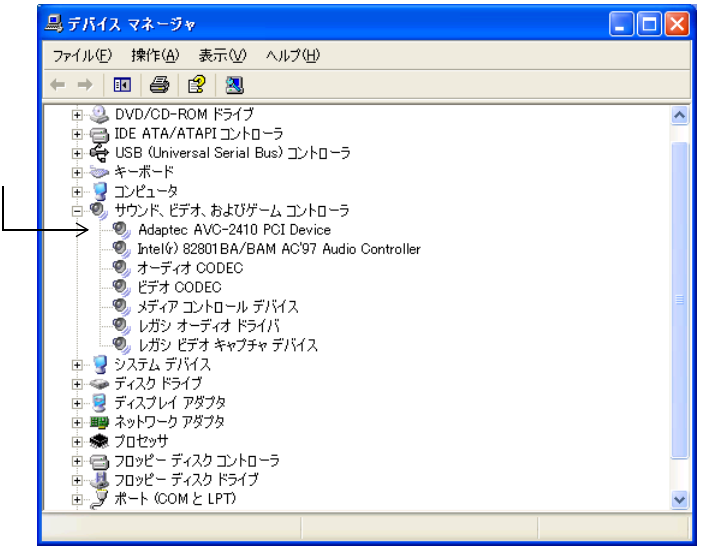
デバイス ドライバのインストールに関するヘルプ

使用しているオペレーティング システム用のドライバが本当に正しくインストールされているかどうかは、以下の方法で確認できます。

Windows XP の場合

1. デスクトップの左下端にある **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をダブルクリックします。**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックし、**システム** をダブルクリックします。システムのプロパティ ウィンドウが表示されます。**ハードウェア** タブをクリックします。
2. **デバイス マネージャ** を開きます。

3 **サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ** をクリックし、下図のように、**Adaptec AVC-2410 PCI Device** が表示されていることを確認します。



メモ : お使いのコンピュータで表示される画面は、上記の例とは異なっていることがあります。

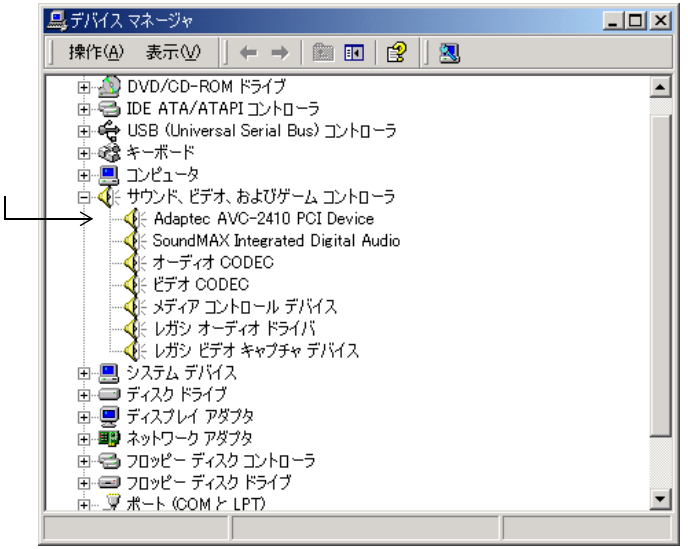
AVC-2410 が表示されない場合は、44 ページの「*AVC-2410 に関するヘルプ*」を参照してください。

Windows 2000 の場合

1 デスクトップの左下端にある **スタート** ボタンをクリックして **設定** を選択し、**コントロール パネル** をクリックした後、**システム** をダブルクリックします。システムのプロパティ ウィンドウが表示されます。**ハードウェア** タブをクリックします。

2 **デバイス マネージャ** を開きます。

3 **サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ** をクリックし、下図のように、**Adaptec AVC-2410 PCI Device** が表示されていることを確認します。



メモ : お使いのコンピュータで表示される画面は、上記の例とは異なっていることがあります。

AVC-2410 が表示されない場合は、44 ページの「*AVC-2410 に関するヘルプ*」を参照してください。

TV 番組の録画に関するヘルプ

- ハードディスクに番組を録画するのに十分な空き領域が残っているか確認します。以下の表を参考にして、必要なディスク容量を推定してください。

	必要なディスク容量	
キャプチャ設定	TV 録画 1 分間	TV 録画 10 分間
普通品質	38 MB	380 MB
良品質	46 MB	460 MB
最高品質	53 MB	530 MB

メモ : Windows FAT 32 ファイル システムで使用する場合、キャプチャ可能な最大ファイル サイズは 4 GB です。可能であれば、NTFS 形式でフォーマットしたハードディスクを使用してください。

- 番組の予約録画をするには、以下のステップに従います。
  - コンピュータに設定された日付と時間が正しいか確認します。
  - サスペンド モードからの予約録画が正常に行えない場合には、コンピュータの電源を入れたままにします。(サスペンドモードからの復帰はシステム構成などさまざまな要因によりシステム側がサポートしていない場合があります。) デジタル ケーブル TV や衛星放送の外部受信機がある場合は、受信機の電源も入れたままにしておきます。
  - コンピュータのスリープ機能やハイバネーション機能を無効にします。詳細については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

メモ : 予約録画をする場合、番組開始の少なくとも 4 分前に予約する必要があります。

- 本日または明日以降の番組表を表示するには、コンピュータをインターネットに接続し、WinDVR の地域設定をお住まいの地域にあわせたものに設定しておく必要があります。

  番組の録画スケジュールの設定を終えれば、インターネットとの接続は終了してもかまいません。番組の録画時にはインターネット接続は不要です。

- 電子番組ガイド (EPG) の使用法と問題の解決方法については、電子番組ガイドの Web サイトを参照してください。

ビデオ キャプチャ（MyDVD）に関するヘルプ

- ビデオデッキやビデオカメラなどのアナログ ビデオ機器の電源が入っていない場合、およそ 1 分後にエラー メッセージが表示されます。

  MyDVD にビデオを認識させ、キャプチャさせるには、以下のステップに従います。

  a **OK** をクリックして エラーメッセージを閉じます。

  b **完了** をクリックして、キャプチャ ウィンドウを閉じます。

  c ビデオ機器の **電源** ボタンを押します。

  d **キャプチャ** をクリックします。

  e **キャプチャの開始** をクリックします。

- 最適な品質で DVD を作成するためには、ビデオ クリップをキャプチャする際に、MyDVD キャプチャ ウィンドウで最高品質に設定します。ただし、ディスクの空き容量に余裕がない場合は、キャプチャの設定を「より優れた品質」または「良好な品質」にすることをお勧めします。以下の表を参考にして、必要なディスク容量を推定してください。

		必要なディスク容量	
品質 / 解像度	キャプチャ設定	アナログ ビデオ 1 分間	アナログ ビデオ 10 分間
DVD (MPEG-II)	良好な品質	32 MB	320 MB
	より優れた品質	39 MB	390 MB
	最高品質	46 MB	460 MB
VCD (MPEG-I)	良好な品質	10 MB	100 MB

メモ : Windows FAT 32 ファイル システムで使用する場合、キャプチャ可能な最大ファイル サイズは 4 GB です。可能であれば、NTFS 形式でフォーマットしたハード ディスクを使用してください。

- MyDVD は、破損または品質が劣化したビデオテープの画像を認識できないことがあります。
- アナログ ビデオテープにギャップ（途切れ）があると、MyDVD のキャプチャは停止します。続けるには、ギャップの後の新しいビデオ画像より新たにキャプチャを始めます。ビデオテープのギャップは、撮影時の停止、一時停止、静止画、録画されていないスペースなどでしばしば発生します。また、古い、破損した、または劣化したビデオ テープが原因でも発生します。
- 最適に見ることができるように、お使いのコンピュータの解像度を 1024 x 768 以上に設定します。

- ビデオを再生しても、MyDVD のメイン プロジェクト ウィンドウに表示されない場合は、MyDVD が正しい機器から画像をキャプチャしているか確認してください。

  機器を確認するには、キャプチャ ウィンドウ (「*ビデオのキャプチャ*」の*ステップ 3* の 図参照) を開き、レコーディングの設定 で **変更** ボタンをクリックします。**Adaptec PCI Capture Device** が選択されているか確認します。

- 特に長時間のビデオクリップで、キャプチャした画像がとぎれとぎれになるのを避けるには、ウィルス対策ソフトウェアのようにバックグラウンドでスキャン動作を実行するソフトや CPU 負荷の高いソフトウェアを動作させないようにしてください。

技術仕様

ビデオ入力	コンポジット映像入力 (RCA) S 端子ビデオ (4 ピン DIN) TV アンテナコネクタ （F 型)
オーディオ入力	ステレオ オーディオ (左 / 右 - RCA ピン)
TV チューナー入力	ステレオ サウンド対応標準アンテナ プラグ F 端子 (NTSC)
ビデオ キャプチャ形式	MPEG-1 および MPEG-2
ビット レート	2 ～ 10 Mbps (VBR)
ビデオ規格	NTSC 形式で 29.97 fps: Full D1: 720 x 480, MPEG1: 352 x 240
PC インターフェイス	PCI
適合規格	FCC Class B, CE Class B , VCCI Class B (詳細については、vi ページ を参照してください。)

Adaptec, Inc.
691 South Milpitas Boulevard
Milpitas, CA 95035 USA

©2003 Adaptec, Inc.
All rights reserved. Adaptec および Adaptec のロゴは、Adaptec Inc. の登録商標であり、数カ国で登録されています。

Part Number: 513616-06JA, Ver. AA